

# 14 Circlight Communication

## チームパワーワード



### 概要

自分の思いを無意識的に且つ正確に相手に伝えるのは困難だ。  
他者に考えや思いを伝えるには、何かしら意図的・意識的に行動を起さなければならない。  
その行動のひとつとして、人は言葉を使う。  
言葉には相手に伝えたいという意思が伴う。  
しかしその意思がどんなにあったとしても、  
伝えられた言葉がどんなに印象深かったとしても、その言葉の存在は一瞬で消える。  
しかし、受けた言葉は時間が経つにつれて薄れながらも思い出として心に残る。  
そのコミュニケーションが持つ一瞬のきらめきと儚さを可視化したいと考え、  
わたしたちはこの『Circlight Communication』を通して表現した。

### 構造

このスカートは二重構造になっており、  
生地と生地の中に LED が付けられた基盤が入っていて、  
スカートを身につけた人が回転すると LED の残像により文字が表示される。  
そのメッセージは回転する間のみ認識することができ、  
回転スピードが遅くなるにつれ読みづらくなり、最終的に消えてしまう。  
「日常的な行動・動作は、その思いの大小はあっても何かしら意図が必要であり、  
またその行動・動作はいくらその意図が大きかったとしても、時間が経つにつれ薄れてしまう。  
そして伝えたいという気持ち・動作は相手にはどう伝わってるかわからない。」  
という日常動作の特徴である3点を、  
「自分自身が意識的に回転することでしか相手に思いを伝えられず、  
また回転している間しか文字が正確に認識できず、  
動きを止めると残像が曖昧になり、記憶が消えゆく寂しさを演出した。  
そしてその表示された文字は、相手からは見えても自分自身で見ることができない。」  
という形で『Circlight Communication』の特徴とした。

### 備考

武蔵美と資生堂のコラボレーションとして開設された授業内で制作。  
与えられたテーマは Lifetransports  
2017.12 に資生堂銀座ビルにて展示『Re: LINK OF LIFE』を開催。

